

組合員のみなさん

東北地方太平洋沖大地震は、私たちが経験したことの無い事態となっています。それは被害が地震にとどまらず、津波、福島第一原発へと拡大し、さらに茨城、千葉、東京と広範囲に及んでいます。その被害は、家屋や電力供給はもとより死者、行方不明者が三万人にも及ぼうとしています。そして被爆までもがです。

なかでも放射線、放射性物質の被害にはどうにも手が出せません。私たちが出来ることには限界があります。しかし、限界があるからと言って何もしないわけにはいきません。出来ることはすべてやりましょう。すでに組合員のなかには義援金を届けたり、献血やボランティアへの参加など、出来ることを開始している人もいます。

また、東海労としてはJR総連と連携をしながら、義援金のカンパを取り組んでいます。東二運分会は26日に予定していた、三分会共催の退職者激励会を延期し、乗務員分科会も5月に予定していた20周年の記念すべき旅行を延期します。

組合員のみなさん

私たちは、この大惨事に対し、お見舞い申し上げます、と言うだけではなく具体的に手、足、体、そして頭すべて使って復興に向けた協力体制を取っていきましょう。

まずは一人ひとりに何が出来るか？ 何か出来ることはないか？ と話し合いましょう。話しをすることでアイデアが出ます。もちろん家族と話すことでもアイデアが出てきます。出来ることはすべてやりましょう。

具体的には触れませんが、残念ながら、こんななかでも会社の異常な労務管理は止むことなく繰り返されています。しっかりと、理不尽をもチェックしていきましょう。